

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 物語の感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」

2 指導観

- 本学年の子どもたちは、これまでの国語科の学習においては、「海をかつとばせ」の物語単元で、題名にこめられた意味を考え、場面をつないで人物の気持ちの変化を考えたり、人物の行動や会話文から人物像をとらえたりする学習をしてきている。その結果、友だちの考えと自分の考えを比べながら聞いたり、話そうとしたりする姿も少しずつ見られるようになってきた。しかし、人物の気持ちを思いつきや想像で言うことはできても、根拠となる叙述を明らかにして考えを発表することが苦手な子どもが多い。さらに、自分の考えと比べながら、聞いたり、自信をもって発表したりできず、話し合いが深まらないことが多い。
- 本単元は、父の出征の前日、家族そろってかげおくりをしたちいちゃんが、戦争によって家族を奪われ、自分の命までも奪われてしまう話であり、5つの場面で構成されている。1の場面で家族そろってかげおくりをしたちいちゃんが2と3の場面でひとりぼっちになり、4の場面では、たったひとりでかげおくりをする。そして、5の場面では何十年後かの町や子どもたちの様子が描かれている。そのため場面ごとに、ちいちゃんに寄り添って気持ちを読み取った上で、家族でしたかげおくりと一人でしたかげおくりを比較することを通して、家族の大切さや、平和の尊さについて考えることができる。また、会話文が多く、その会話や行動の叙述に即して、読み取ったちいちゃんの気持ちを、自分と友達の考えを比べながら読み深めていくのに適している。
- 本単元の指導にあたっては、まず、「ちいちゃんのかげおくり」という題名と冒頭を読み、読みのめあてを考えさせる。冒頭では家族4人のかげおくりとお兄ちゃんと二人のかげおくりなのに、題名では、「ちいちゃんのかげおくり」となっていることに着目させ、「ちいちゃんのかげおくりとはどんなかげおくりなのだろう。」という読みのめあてをつくる。そして、ちいちゃんのかげおくりは「①家族に会えたうれしいかげおくり②命をおくった悲しいかげおくり」という二つの読みのめあての答えに気付かせたい。学習計画では、題名が「ちいちゃんのかげおくり」というのはなぜか、「ちいちゃんのかげおくり」とはどんなかげおくりなのかという子どもの疑問を生かしながら、場面ごとのちいちゃんの気持ちを詳しく読み確かめていくことを確認し、各場面の中心となる文を設定する。読み確かめる段階では、中心となる文から書き込みの視点をつくり、自分の考えを書き込んでから小グループで話し合う。小グループで話し合うことによって、自分の考えを確かめ、全体の話し合いの時に、自信をもって話し合うことができると考える。また、どちらの話し合いの場面でも、学級に掲示してある資料等を活用して、話し方・聞き方の徹底を図る。最後に、振り返りを書かせることを通して、読み取ったことの深まりを確かめさせたい。

3 単元目標

- ちいちゃんの気持ちを読み取ることを通して、家族の大切さや平和について考えることができる。
- 言動をもとに、人物の様子や気持ちを読む、場面をつないで主人公の気持ちの変化を読む、場面を比べて作者の思いや願いを読む力を身に付けることができる。
- 自分の考えや伝えたいことについて、理由や例を挙げながら筋道を立てて話し、似ているところや違うところに気をつけて聞くことができる。

4 学習指導計画：全12時間

(手だて ※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
1・2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 題名と冒頭をつないで、読みのめあてをつくることができる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 題名からわかること、思ったことや読んでみたいことを話し合う。 2 冒頭を読んで題名とのつながりや人物・時・場所を話し合い、物語の方向性をつかむ。 3 題名と冒頭をつないで読みのめあて 読みのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「ちいちゃんのかげおくり」って、どんなかげおくりなのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちいちゃんのかげおくり」の「の」から、ちいちゃんだけですかかげおくりであることを考えることができるようにする。 ○題名は「ちいちゃんのかげおくり」となっていることに着目するようにする。
3・4 ・5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 全文を読んで、読みのめあての答えを書きまとめることができる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 全文を読む。 (1) すらすら読めるように声に出して音読の練習をする。 2 読みのめあての答えを書きまとめる。 (1) 場面をとらえ答えを書きまとめる。 (2) 書いた答えを見直し修正する。 3 読みのめあての答えを出し合い整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○口の開け方や声の大きさ、姿勢に気をつけ、正しく読むことができるように、評価しながら練習をさせる。 ○1行空きに注目させ、場面構成をつかませ、最後の1行空きには、何十年という長い時間がたっていることに気付かせる。 ○場面ごとの時間や場所を表す言葉と、ちいちゃんの言動に着目し、あらすじをとらえることができるようにする。

	<p>予想される読みのめあて答え</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ちいちゃんのかげおくりは、</p> <p>① ちいちゃんが家族に会えたうれしかげおくり。</p> <p>② ちいちゃんが命をおくった悲しかげおくり。</p> </div>	
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>くわしく読み確かめていくことや中心文を決めることができる。</p> </div> <p>1 くわしく読み確かめていく学習計画を立てる。</p> <p>読み確かめること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ち ・家族の帰りを待つちいちゃんの気持ち ・空の上で家族に会えたちいちゃんの気持ち </div>	<p>○ちいちゃんの行動で、詳しく考えたことはないかと問いかけ、各場面の中心文を決めていく。</p> <p>○中心文をもとに、詳しく読み確かめたいちいちゃんの気持ちへの疑問を出すことができるようにする。</p>
7 3の3 3の4 本時 7/12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ひとりぼっちになり、たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんの気持ちを読み確かめることができる。</p> </div> <p>1 ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちについて自分の考えを書く。</p> <p>○たくさん的人はいるが、自分の家族がいないちいちゃんの気持ちを考える。</p> <p>2 たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんの気持ちを話し合う。</p> <p>3 読み確かめたことを書きまとめる。</p>	<p>○中心文をもとに子どもと話し合いながら、考える視点を作り出させる。</p> <p>○既習掲示物で前時までの学習を振り返ることができるようにする。</p> <p>※環子ども達の発表から、中心文に書き込む視点を作り出すことができるようにする。</p> <p>※1自分の考えを確かめるために学習プリントに書き込む。</p> <p>※2小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめさせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>※3友達の発言を受け止め、自分の読</p>

		み取りの深まりを振り返る。
8 3の1 3の2 3の5 本時 8/12	<div data-bbox="288 226 1385 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 家族の帰りを待つちいちゃんの気持ちを読み確かめることができる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="268 309 842 577">1 お母ちゃんとお兄ちゃんを待つちいちゃんの気持ちを書き込む。 ○「深くうなずきました。」「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」という言葉などからちいちゃんの気持ちを考える。 <li data-bbox="268 689 842 779">2 ぼうくうごうの中でねむるちいちゃんの気持ちについて話し合う。 <li data-bbox="268 891 842 925">3 読み確かめたことを書きまとめる。 	<p>○中心文から子どもと話し合いながら、考える視点を作り出す。</p> <p>○中心文に書き込んだことがもっと詳しくわかるような文や言葉がないか考えるようにする。</p> <p>※1 自分の考えを確かめるために学習プリントに書き込む。</p> <p>※2 小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめさせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>※3 友達の発言を受け止め、自分の読み取りの深まりを振り返る。</p>
9	<div data-bbox="288 1037 1385 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子を読み取り、空の上で家族に会えたちいちゃんの気持ちを考えることができる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="268 1171 842 1249">1 ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちについて話し合う。 <li data-bbox="268 1261 842 1731">2 空の上で家族に会えたちいちゃんの気持ちを書き込む。 ・「暑いような寒いような」「ひどくのがかわれています。」「ふらふらする足をふみしめて」などからちいちゃんの様子を考える。 ・「ちいちゃんはきらきらわらいました。」からちいちゃんの気持ちを考える。 <li data-bbox="268 1798 842 1877">3 空の上で家族に会えたちいちゃんの気持ちについて話し合う。 <li data-bbox="268 1933 842 1966">4 読み確かめたことを書きまとめる。 	<p>○どの言葉に着目すればちいちゃんの手がかりが詳しくわかるのかを問いかけ、子どもたちの発表から書き込みの視点を作り出すことができるようにする。</p> <p>※1 自分の考えを確かめるために学習プリントに書き込む。</p> <p>※2 小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめさせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>※3 友達の発言を受け止め、自分の読み取りの深まりを振り返る。</p>

10	<div data-bbox="288 174 1390 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なぜ、「それから何十年～」の場面がついているのかを考え、題名にこめられたあまんきみこさんの思いや願いについて書くことができる。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 題名「ちいちゃんのかげおくり」の意味を話し合う。 2 あまんきみこさんの思いや願いについて自分の考えを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・「それから何十年。」 ・「前よりもいっぱい家がたっています。」 ・「きらきらわらい声を上げて」 3 あまんきみこさんが読み手に伝えたかったことを話し合う。 4 話し合いをして深まったことを書きまとめる。 	<p>○空で家族に会えたちいちゃんが本当に幸せだったのかを考えることを通して平和の大切さに気付くことができるようにする。</p> <p>○書き手の視点から、何を伝えたかったのかを考えられるようにする。</p> <p>※1 自分の考えを確かめるために学習プリントに書き込む。</p> <p>※2 小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめさせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>※3 友達の発言を受け止め、自分の読み取りの深まりを振り返る。</p>
11・12	<div data-bbox="288 1093 1390 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>心に残ったことを、組み立てに気をつけて書き、友達の考えとくらべることができる。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 読み確かめたことについて振り返る。 2 心に残ったことを組み立てに気をつけて書く。 3 感想文を発表する。 	<p>○「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てに気をつけて書くことができるようにする。</p> <p>○友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことができるようにする。</p>

第3学年 組 本時学習指導案

3年 組教室 指導者

5 本時（7／12）

6 本時の目標

- ひとりぼっちになったちいちゃんの様子や気持ちについて、人物の言動をもとに読み深めることができる。
- 友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを発表することができる。

7 本時指導の考え方

前時までに児童は、読みのめあての答えをまとめ、読み確かめていく学習の計画を立ててきた。本時は、空襲の中、お母さんやお兄ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになり、たくさんの人達の中で眠るちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめる場面である。

そこで、①「ひとりぼっちになりました。」から、ちいちゃんはどのような気持ちでいるのか。②「ぶつかったりー」のダッシュから、他にどのような様子が考えられるか。③「お母ちゃん。お母ちゃん。～」から、ちいちゃんはどんな気持ちでさげんだのかの3点について考えさせる。

まず、「ひとりぼっちになりました。」に着目し、ちいちゃんが家族と本当に離れ離れになってしまったことを確認したり、「たくさんの人たち」という意味を具体的に考えたりすることで、知らない人達の中で一人きりで眠らなければならない、ちいちゃんの不安や寂しさを確かめる。

次に、「ぶつかったりー」のダッシュについて話し合う。ダッシュの意味を考えさせることによって、激しい空襲の様子を読み取らせる。また、「お母ちゃん。お母ちゃん。」からちいちゃんの気持ちを話し合う。そこで、「さげびました」と「言いました」を比べて読んだり、「さげぶ」という言葉の2回の繰り返しに着目したりすることで、ちいちゃんの気持ちに迫らせる。

最後に、本時のまとめでは、ひとりぼっちになり、たくさんの人達の中で眠るちいちゃんの気持ちについて確かになった読みを一人一人にプリントに書きまとめさせる。また、一人一人が話し方・聞き方について「自分の考えの深まりと変化」の観点で振り返る。

8 準備

- 教師 挿絵 学習プリント 既習掲示物 話し方・聞き方の掲示物
- 児童 教科書

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時までを想起し、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時までを想起する。</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○既習掲示物で、前時までの学習を振り返ることができるようにする。</p>
<p>めあて ひとりぼっちになり、たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。</p>	
<p>2 本時場面を音読する。</p> <p>3 学習プリントに書き込み、話し合いをする。</p> <p>(1) 中心文「ひとりぼっちになりました。」からちいちゃんの気持ちを考える。</p> <p>(2) 中心文の読みにつながる叙述に線を引き、ちいちゃんの気持ちを具体的にとらえて話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お母ちゃん、お母ちゃん。」ちいちゃんはさげびました。 ・「お母ちゃん」 ・ぶつかったりー。 <p>4 本時のまとめをし、学習を振り返る。</p> <p>(1) 全体的話し合いで、読み確かめたことをまとめる。</p>	<p>○「ひとりぼっち」という言葉からちいちゃんの寂しい、心配、こわいなどの気持ちに気付かせる。</p> <p>※1自分の考えを発表する時には、根拠を明かにできるように、学習プリントを工夫し書き込むことができるようにする。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>○「さげびました」と「言いました」を比べて読んだり、「さげぶ」という2回の言葉の繰り返しに着目したりして、必死に家族を探す様子や、心細さに気付かせる。</p> <p>○ダッシュから激しい空襲の様子について読み取らせる。</p> <p>※2小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめさせる。</p>
<p>まとめ お母ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになったちいちゃんは、必死になって捜したが見つからなかったため、とても心細くなり、心配で、寂しい思いをしている。</p>	
<p>(2) 「話し方・聞き方」の振り返りをする。</p>	<p>※3友達の発言を受け止め、自分の読み取りの変化や深まりを振り返る。</p>

第3学年 組 本時学習指導案

5 本時（7／12）

6 本時の目標

- ひとりぼっちになったちいちゃんの様子や気持ちについて、人物の言動をもとに読み深めることができる。
- 友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを発表することができる。

7 本時指導の考え方

前時までに児童は、読みのめあての答えをまとめ、読み確かめていく学習の計画を立ててきた。本時は、空襲の中、お母さんやお兄ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになり、たくさんの人達の中で眠るちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめる場面である。

そこで、①「ひとりぼっちになりました。」から、ちいちゃんはどのような気持ちでいるのか。②「ぶつかったりー」のダッシュから、他にどのような様子が考えられるか。③「お母ちゃん。お母ちゃん。～」から、ちいちゃんはどんな気持ちでさげんだのかの3点について考えさせる。

まず、「ひとりぼっちになりました。」に着目し、ちいちゃんが家族と本当に離れ離れになってしまったことを確認したり、「たくさんの人たち」という意味を具体的に考えたりすることで、知らない人達の中で一人きりで眠らなければならない、ちいちゃんの不安や寂しさを確かめる。

次に、「お母ちゃん、お母ちゃん。」から、ちいちゃんのことを話し合う。「ちいちゃんの目に、お母さんらしい人が見えました。」「でも、その人は、お母さんではありませんでした。」というところに着目して、必死に家族を探す様子や、心細さに気付かせる。

また、「ぶつかったりー」のダッシュについて話し合う。ダッシュの意味を考えさせることによって、激しい空襲の様子を読み取らせる。

最後に、本時のまとめでは、ひとりぼっちになり、たくさんの人達の中で眠るちいちゃんの様子や気持ちについて確かになった読みを一人一人がプリントに書きまとめる。また、一人一人が話し方・聞き方について「自分の考えの深まりと変化」の観点で振り返る。

8 準備

- 教師 挿絵 学習プリント 既習掲示物 話し方・聞き方の掲示物
- 児童 教科書

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時までを想起し、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時を想起する。</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○既習掲示物で、前時までの学習を振り返ることができるようにする。</p>
<p>めあて ひとりぼっちになり、たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。</p>	
<p>2 本時場面を音読する。</p> <p>3 中心文について書き込み、話し合いをする。</p> <p>(1) 中心文「ひとりぼっちになりました。」から、ちいちゃんの気持ちを考える。</p> <p>(2) 中心文以外のところから、ちいちゃんの気持ちが分かる言葉に書き込み、話し合いをする。</p> <p>・「お母ちゃん、お母ちゃん。」ちいちゃんはさげびました。</p> <p>・「お母ちゃん。」</p> <p>・ぶつかったりー。</p> <p>4 本時のまとめをし、学習をまとめる。</p> <p>(1) 読み確かめたことを「まとめ」に書く。</p>	<p>○「ひとりぼっち」という言葉からちいちゃんの寂しい、心配、こわいなどの気持ちに気付かせる。</p> <p>※1自分の考えを発表する時には、根拠を明らかにできるように、学習プリントを工夫し、書き込めるようにする。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>○ちいちゃんの目に、お母さんらしい人が見えました。「お母ちゃん。」でも、その人は、お母さんではありませんでした。」と言うところから、必死に家族を探す様子や、心細さに気付かせる。</p> <p>○ダッシュから激しい空襲の様子について読み取る。</p> <p>※2小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめる。</p>
<p>まとめ お母ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになったちいちゃんは、必死になって捜したが見つからなかったため、とても心細くなり、心配で、寂しい思いをしている。</p>	
<p>(2) 「話し方・聞き方」の振り返りをする。</p>	<p>※3友達の発言を受け止め、自分の読み取りの変化や深まりを振り返る。</p>

第3学年 組 本時学習指導案

5 本時（8／12）

6 本時の目標

- 人物の言動をもとに、家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめることができる。
- 友だちの考えと比べながら聞き、自分の考えを発表することができる。

7 本時指導の考え方

前時までに子ども達は、家族4人でかげおくりをしたことやお兄ちゃんと2人でかげおくりをしたこと、そして、夜の空襲の中、逃げている途中でお母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取ってきた。本時は、ちいちゃんがはす向かいのうちのお婆さんと家に戻り、家族が帰ってくることを信じて防空壕の中で眠る場面である。

まず、中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」の「きっと」や「よ」という言葉に着目させ、ちいちゃんはお母ちゃんやお兄ちゃんが帰ってくることを信じ、必ず帰って来ると自分に言い聞かせながら待っていることに気付かせたい。

次に、中心文で読み取ったちいちゃんの気持ちにつながる文を探し、なぜその文が中心文とつながるか根拠をはっきりさせてちいちゃんの気持ちを読み確かめさせたい。その際、根拠を明らかにできるように、学習プリントを工夫する。また、全体の話し合いの前には、小グループの中で話し合い活動をさせ、学級全体の中で自信をもって発言できるようにしていきたい。

最後に、本時のまとめでは、話し合いの中で聞いた友達の見解や、本時の板書から、学習プリントに読み取ったことをまとめさせる。また、「話し方・聞き方」を毎時間振り返ることによって、自分の読み取りの深まりを振り返ることができるようにする。

8 準備

- 教師 学習プリント 既習掲示物 話し方・聞き方の掲示物
- 児童 教科書

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時を想起し，本時場面の確認をする。</p> <p>2 本時のめあてを確認し，本時場面を音読する。</p>	<p>○既習掲示物で，前時までの学習を振り返る。</p>
<p>めあて 家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめよう。</p>	
<p>3 学習プリントに書き込みをし，話し合う。</p> <p>(1) 中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってくるよ。」について自分の考えを書きまとめ，話し合う。</p> <p>(2) 中心文につながる文について考え，書き込みをする。</p> <p>(3) 書き込んだことをグループで話し合う。</p> <p>(4) 書き込んだことをもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どこがうちなのか――。 ・ なくのをやっところらえて言いました。 ・ 深くうなずきました。 ・ また深くうなずきました。 <p>4 読み確かめたことをまとめ，本時を振り返る。</p> <p>(1) 全体の話し合いで，読み確かめたことをまとめる。</p>	<p>※1自分の考えを発表する時には，根拠を明らかにできるように，学習プリントを工夫し，書き込むことができるようにする。</p> <p>○「きっと」「よ」に着目させ，絶対に帰って来ると思っているちいちゃんの気持ちに気付かせる。</p> <p>※2小グループで話し合わせ，自分が読み取ったことを確かめる。</p> <p>○「どこがうちなのか――。」のダッシュから町の様子を考えることができるようにする。</p> <p>○お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれてしまい，必死に悲しみをこらえ，必ず帰ってくると自分に言い聞かせているちいちゃんの気持ちに気付かせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って，話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p>
<p>まとめ ちいちゃんは，お母ちゃんとお兄ちゃんが，絶対帰って来ると自分に言い聞かせている。</p>	
<p>(2)「話し方・聞き方」の振り返りをする。</p>	<p>※3友達の発言を受け止め，自分の読み取りの変化や深まりを振り返る。</p>

第3学年 組 本時学習指導案

5 本時（8／12）

6 本時の目標

- 人物の言動をもとに，家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめることができる。
- 友達の考えと比べながら聞き，自分の考えを発表することができる。

7 本時指導の考え方

前時まで子どもたちは，家族4人でかげおくりをしたことやお兄ちゃんと2人でかげおくりをしたこと，そして，夜の空襲の中，逃げている途中で，お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれてひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取ってきた。本時は，ちいちゃんがはす向かいのうちのお婆さんと家に帰り，家族が帰ってくることを信じて防空壕の中で眠る場面である。

まず，中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんは，きっと帰ってくるよ。」の「きっと」や「よ」に着目させ，ちいちゃんがお母ちゃんやお兄ちゃんが帰ってくることを信じ，自分に言い聞かせながら待ち続けていることに気付かせたい。次に，中心文以外のダッシュや，「なくのをやっところえて」「深くうなずきました。」「また深くうなずきました。」から，中心文につないで，本当は泣きたいほど悲しいけど，お母ちゃんやお兄ちゃんは必ず帰ってくると信じているちいちゃんの気持ちを書き込ませていきたい。なお，書き込む学習プリントは根拠をもとに発表したり，友達の考えと比べながら聞いたりすることができるように工夫したい。

また，話し合う場面では，自分が読み取ったことを，小グループの中で話し合うことで，自分が読み取ったことを確かめさせ，学級全体の中で発言できるようにしていきたい。

最後に，振り返りを書くことによって，自分が読み取ったことの深まりを確認できるようにする。

8 準備

- 教師 学習プリント 既習掲示物 話し方・聞き方掲示物
- 児童 教科書

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時学習を想起する。</p> <p>2 本時のめあてを確認し、本時場面を音読する。</p>	<p>○既習掲示物で、前時までの学習を振り返る。</p>
<p>めあて 家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめよう。</p>	
<p>3 学習プリントに書き込みをし、話し合う。</p> <p>(1) 中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってくるよ。」について書き込む。</p> <p>(2) 中心文に書き込んだことがもっとわかるところについて書き込む。</p> <p>(3) 書き込んだことをグループで話し合う。</p> <p>(4) 書き込んだことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこがうちなのかー。 ・なくのをやっところらえて言いました。 ・深くうなずきました。 ・また深くうなずきました。 	<p>※1自分の考えを発表する時には、根拠を明らかにすることができるよう、学習プリントを工夫し、書き込むことができるようにする。</p> <p>○「きっと」「よ」に着目させ、絶対に帰って来ると思っているちいちゃんの気持ちに気付かせる。</p> <p>○誰に言った言葉かを考えさせることで、自分に言い聞かせるほどちいちゃんの家族に会いたいという気持ちが強いことに気付かせる。</p> <p>○「どこがうちなのかー。」のダッシュから町の様子を考えることができるようにする。</p> <p>○お母さんやお兄ちゃんとはぐれてしまい、泣くのをせいいっぱいがまんしていることをとらえることができるようにする。</p> <p>※2個人で読み深めたものをもとに、グループで話し合い、全体での話し合いにつなげさせる。</p>
<p>4 読み確かめたことをまとめ、本時を振り返る。</p> <p>(1) 全体で話し合い、読み確かめたことをまとめる。</p>	<p>※環話し合いの時には、「話し方・聞き方」の掲示物を使って確認をする。</p>
<p>まとめ ちいちゃんは、お母ちゃんとお兄ちゃんが、絶対帰って来ると自分に言い聞かせている。</p>	
<p>(2) 「話し方・聞き方」の振り返りをする。</p>	<p>※3友達の発言を受け止め、自分の読み取りの変化や深まりを振り返る。</p>

第3学年 組 本時学習指導案

5 本時（8／12）

6 本時の目標

- 人物の言動をもとに、家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめることができる。
- 友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを発表することができる。

7 本時指導の考え方

前時までに児童は、お父さんの出征前に家族四人でかげおくりをした場面や夜の空襲の中で逃げている途中で、お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれてひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを叙述をもとにして読み取ってきた。本時は、はす向かいのうちのおばさんと家に戻ったちいちゃんが、お母ちゃんとお兄ちゃんが帰ってくることを信じて防空壕の中で眠る場面である。

この場面の会話や行動から、ちいちゃんの気持ちが詳しくわかる言葉に着目させ、お母ちゃんやお兄ちゃんがきっと帰って来ると信じているちいちゃんの気持ちを読み取るようにする。そのために、まず、中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」の「きっと」からちいちゃんがお母ちゃんやお兄ちゃんに会いたいと強く思い信じていることや「よ」から不安に思っているけれども自分に言い聞かせていることに気付かせる。

次に、中心文で読み取ったちいちゃんの気持ちにつながる文を探し、なぜその文章が中心文につながるのか根拠をはっきりさせてちいちゃんの気持ちを読み確かめさせたい。その際、根拠を明らかにできるように、学習プリントを工夫する。

また、全体の話し合いの前には、書き込んだことを小グループの中で話し合うことで学級の中でも自信をもって発言できるようにする。

そして、本時のまとめでは、これまでの話し合いで聞いた友達の発言や板書を見て、自分の学習プリントに読み確かめたことを書きまとめさせる。

最後に、話し合いの中では、話し方・聞き方を確認することや、振り返りを書くことによって、自分の考えが深まったことを確かめさせたい。

8 準備

- 教師 学習プリント 既習掲示物 話し方・聞き方の掲示物
- 児童 教科書

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手立て
<p>1 前時学習を想起する。</p> <p>2 本時のめあてを確認し、本時の場면을音読する。</p>	<p>○既習掲示物で、前時までの学習を振り返る。</p> <p>○前時に書いた自分の書き込みを確認し、何を伝えたいかを意識させて話し合いに参加できるようにする。</p>
<p>めあて 家族の帰りを待つちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめよう。</p>	
<p>3 学習プリントに書き込みをし、話し合う。</p> <p>(1) 中心文「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」について自分の考えを書きまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰って来ると信じている ・帰ってくるかどうか不安 <p>(2) 中心文につながる文について考え、自分の考えを書く。</p> <p>(3) 書き込んだことを小グループで話し合う。</p> <p>(4) 書き込んだことを全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深くうなずきました。 ・また深くうなずきました。 ・少し食べました。 ・少しかじりました。 <p>4 読み確かめたことをまとめ、本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 全体の話し合いで読み確かめたことをまとめる。</p>	<p>○個人で読み深めたものをもとに、全体で話し合いにつなげる。</p> <p>○「きっと」から絶対に帰ってくると思うちいちゃんの気持ちに気付かせる。</p> <p>○「よ」からちいちゃんが自分で自分に言い聞かせていることに気付かせる。</p> <p>※1自分の考えを発表する時に、根拠を明らかにできるように、学習プリントを工夫し、書き込むことができるようにする。</p> <p>※2小グループで話し合い、自分が読み取ったことを確かめる。</p> <p>○「深くうなずきました。また深くうなずきました。」という叙述からちいちゃんの家族が帰って来ると信じて待とうとしていることにつながることに気付かせる。</p> <p>○「食べました。」「かじりました。」という叙述から、ちいちゃんの体が弱ってきていることに気付かせる。</p> <p>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>○机間指導で子どもたちの書き込みを把握して、全体での話し合いでは、意見がなくなるようにする。</p> <p>○話し合いで出た発言をもとに、本時の学習をまとめる。</p>
<p>まとめ ちいちゃんは、お母ちゃんとお兄ちゃんがぜったい帰ってくると信じて、自分に言い聞かせている。</p>	
<p>(2)「話し方・聞き方」の振り返りをする。</p>	<p>※3友達の発言を受け止め、自分の読み取りの変化や深まりを振り返らせる。</p>

